

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 10日

事業所名

多機能型支援事業所Koikoi

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5	3		狭いと思う。殆ど車イスの利用者で移動時に動きづらい。指導訓練室等スペースあり。日によって密集している。
	2	職員の配置数は適切である	2	4	5		特に問題なくケアができています。配置人数は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	4	1		車イスで自走する利用者が行動できるよう床が全て平らになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	4	3		協力しあい、周りをみている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2	4		把握できていないことがある。改善できていると思う。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	2	3		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	3		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	2		定期的に研修あり。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	5			アセスメントは実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	4			日頃の様子を見返し、工夫している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	4			行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	4	1		工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	4	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	5			概ね実施している。それぞれの児童に合わせた対応企画できている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	5			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	5	1		帰りの送迎があるため職員全員が集まりづらいがなるべくやるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	4			児童の様子を日々毎日用紙へ記入し、改善につなげている(日報等)。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	2	1		モニタリング実施している。月末に見直しを行い工夫している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	6			ガイドランを読んでいる。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6	5			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	9	2			時期によって下校時間等も異なるため職員 や学校、保護者さんとの連携を取っている。 体調確認を行いながら実施している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	7	3	1		指示書をもって実施している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	5	3	2		事前に情報提供している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	7	4			情報提供書や本人の様子等も見ている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	3	5	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	2		コロナ過のため少なくなっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	2	6	2		コロナ過のためできていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	9	2			常に連絡しあっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	7	1		
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6	4	1		利用時、オリエンテーションをしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6	5			臨機応変に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	5	6			
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	7	4			その都度対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	7	3			会報等あり。
	35	個人情報に十分注意している	7	3	1		職員に周知している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	9	2			個々に対応している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	2		コロナ感染防止につき地域住民招待はあり ません。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3	3		マニュアルがある。 周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2			計画的に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	3			保護者より同意書をもっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3	1		アレルギーは周知している。 指示書はないが対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4	3		

